

巻頭言

医師会ホームページの活用と リニューアルについて

新潟県医師会

理事 上 野 光 博



本年4月から5月にかけて新潟県医師会のホームページがダウンし、一時的に閲覧できなくなりました。会員の皆様には大変なご不便とご迷惑をおかけ致しました。深くお詫び申し上げます。外部からのランサムウェア攻撃かと心配しましたが、サーバー・システムの故障によるものでどうにか回復することができました。

さて近年、ICTの急速な進歩・普及により、医学のみならず、医療や福祉でも大きな変革が起こっております。医学生、研修医のみならず働き盛りの医師たちは、LINE、X (旧 Twitter)、Instagram、Facebook、TikTokなどのSNSやChatGPT、Gemini、CopilotなどのAIを情報取得・交換ツールとして頻用し、ZoomやMicrosoft Teamsなどによるオンライン会議にも慣れ親しんでおります。また、学会や研修会にも直接足を運ばず、オンラインで参加できるようになり、学会の教育講演やシンポジウムを聴取して最新の知識や専門医の単位を取得できるようになりました。さらに多くの学会ではホームページに『マイページ』とか『会員専用ページ』などが新設され、会員登録情報、年会費納入状況、学会開催や専門医に関する情報などが見られるようになり、わざわざメモして保存する必要もなくなりました。学会の刊行誌も紙面による発行は少なくなり、ホームページからの閲覧に移行しております。このようにデジタル社会は急速かつ着実に浸透し、私たち医療者の最新医療情報、専門知識、標準的診療の知識取得などに大きく影響しております。

日本医師会でもホームページで、国民への医療情報提供と組織の理解促進を目的に、SNS、公開シンポジウム、各種啓発動画を通じて広報活動を

展開しています。令和6年10月に医師会会員情報システム (Medical Association Member Information System; 以下、MAMIS) が公開されましたが、MAMIS 登録により Web にて三医師会 (郡市区等医師会、都道府県医師会、日本医師会) の入会、異動、退会手続きや情報管理が容易に可能となりました。さらに認定産業医などの研修情報も取得でき、『生涯教育 on-line』へのアクセスにより過去の日本医師会雑誌もすべて閲覧できるようになりました。その他、ホームページでは、上記のMAMISからの情報のみならず、『医師のみなさまへ』のコーナーでは、感染症関連情報、かかりつけ医機能報告制度にかかる研修、医療情報システム、医療安全・死因究明、医師賠償責任保険制度、災害医療、地域医療・保健、かかりつけ医機能研修制度、学校保健、医療政策など多岐にわたるテーマで情報を得ることができます。

新潟県医師会でも、ホームページでは『医師・医療関係者の方へ』のコーナーで、ドクターバンク・医院承継、女性医師や勤務医師の支援、産業医研修会、生涯教育の研修会などの案内を、『会員専用ページ』では、各種通知・案内文書、各種保険、医療安全、県医師会報のバックナンバーなどが閲覧できます。ご活用をお願い致します。

今後も一般向けおよび医療関係者向けのタイムリーな情報提供手段として、ホームページのアップデートを図り、内容をより充実させるとともに、二次元コードの活用などアクセスしやすい環境を整えたいと考えております。ホームページのリニューアルに向けて検討しておりますが、ご意見を頂けましたら幸いです。